

におねっとプラス



令和7年3月5日配信 第11号
発信元:しが学校支援センター
滋賀県教育委員会事務局
生涯学習課内担当 桂、片岡
電話:077-528-4654
mail:ma0601@pref.shiga.lg.jp

「いま おわったのだ そして はじまったのだ」

タイトルの言葉は、まど みちおさんの「さくらのはなびら」という詩の一節です。この詩は、中学校の国語の教科書にも掲載されていますのでご存じの方も多いのではないでしょうか。

この詩は、「あたりまえのこと」は、「かけがえのないもの」、そして、時は「すぎていくもの」ではなく「巡るもの」だという、本当に大事なことを私たちに教えてくれます。

学校の学びも、1年ごとに節目がありますが、決して完了ではなくその先に受け継がれて、形や質を変えながら繰り返されていきます。皆様の今年度の積み重ねが、来年度からの見えない力となって動き出すことを願っております。

「におねっと」は、いつも皆様のもう一つの力となるための伴走支援に努めていきます。

えだを はなれて ひとひら
さくらの はなびらが
じめんに たどりついた
いま おわったのだ
そして はじまったのだ
ひとつの ことが
さくらに とって
いや ちきゅうに とって
うちゅうに とって
あたりまえすぎる ひつつの ことが
かけがえのない
ひとつの ことが



☆メニュー関連情報☆…新規メニューが増えました！

- 1 素敵なオトナ図鑑の会（キャリア教育）…素敵な職業人が出張します。
- 2 ほのぼの屋（人権）…権利について、また、きもちのワークショップ等を通じて心をほぐします。
- 3 滋賀銀行（金融・経済）…知っておきたいお金の話、金融リテラシーの向上をめざします。
- 4 yourship（キャリア教育）…社会教育士が地域学校協働本部のお困りごとをコーディネートします。
学校の様々な行事の伴走支援をします。
- 5 くらりか（科学・理数）…身近な材料を使った工作や実験を理科教室として実施します。

☆☆令和7年度「学びのメニューフェア」開催予定☆☆

7月25日（金）午後 <ピアザ淡海> 出前授業や出前講座の支援者と直接触れ合えます。

来年度の先生方の出張予定に組み入れてください。たくさんのご参加をお待ちしております！

詳細は4月初めに一次案内、5月には参加申し込み等を送付させていただく予定です。



特集 令和6年度出前授業の口コミ Part2



*数字は、メニューのコード番号

<防災・安全編>


滋賀県防災危機管理局（20701 日頃からできる防災対策について知ろう）小学校4年

学 校	子 ども
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書で紹介されていたマイタイムラインを実際に作ることができ、子どもたちの学びが深まった。実際に災害が起きた時を想像しながら、一生懸命にタイムラインを作成していた。 ・講義では、避難所での生活に必要なものを子どもたちに問かけながら一緒に考えてくださったので、子どもたちも自分事として考えることができた。 ・4年生の学習にマッチした。親子でも行いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めてマイタイムラインを作ったが、災害が起きた時に使えるようにしたい。 ・風水害で命を落とさないように、自分でできることはしておくことが大事だと分かった。 ・ハザードマップを見て、危ないところには近づかないようにしたい。

自衛隊滋賀地方協力本部（15904 自衛隊による防災教育支援）小学校6年

学 校	子 ども
<ul style="list-style-type: none"> ・制服姿の自衛隊の方や高機動車など、本物を見て感じて、憧れを抱いている様子が見られた。 ・体験的な学習により、子どもたちが前のめりに取り組んでいた。 ・児童の学習意欲を高められるプログラムで、休み時間には他学年の児童も興味深そうに見ていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高機動車に乗ることができてよかった。 ・いろいろなロープの結び方を知っていることで、いろいろな場面に活用できると分かった。 ・思っていたより簡単に応急担架を作ることができた。子どもの力でも大柄な大人を運ぶことができることが分かった。 ・災害が起きた時は自分たちでもできることがたくさんあり、「自助」の大切さについて考えることができた。

大阪ガスネットワーク株式会社（1306 「考える防災教室」出張授業）小学校4年

学 校	子 ども
<ul style="list-style-type: none"> ・動画を通して、日本で起こる自然災害の危険を学ぶことができた。 ・紙やアルミホイル、ラップ、ペットボトルなど、身の周りのものが食器になることや、電気・水道・ガスなどライフラインが寸断された時に乗り切る方法などを知り、自分たちでできることを知っておくことの大切さを学ぶことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙やペットボトルが食器になるなんて知らなかった。簡単に作れるので、家でもやってみたい。 ・身の守り方や非常時（避難時）に必要な物が何かを、もっと勉強して災害が起こる前に準備しておきたい。 ・自然災害が起きるとどうなるか知ることができてよかった。 

滋賀地震防災市民ネット（2001 地震と防災についての学習）小学校6年…理科で活用

学 校	子 ども
<ul style="list-style-type: none"> ・理科の地震と火山の学習で活用した。地震のメカニズムはもちろん、地震大国・火山大国日本では避けて通れない環境下において、子どもたちが自分事として捉え、備えの大切さに気付き、自分の家や地域の構造や現状を見直すきっかけになったように思う。 ・アナログではあったが、身近な具体物などを通して実感できた。デジタル映像はこの後の授業で補足として使った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの地震でたくさんの被害や犠牲者が出たことやこれから必ず地震は起こることを知り、備えが一番大事だと分かった。 ・自分の命を守ることも大切だが、地震で災害が発生した時に助け合うことの大切さを学んだ。 ・今日の授業まで地震については他人事でしたが、考えが変わった。この授業がなかったら命の大切さについて考えていなかっただろうと思う。2日間ありがとうございました。

<キャリア教育編>

おうみ未来塾「仕事人と語ろうグループ」（901 様々な職種の仕事人、マナー講座）中学校1、2年

学 校	子 ども
<ul style="list-style-type: none"> ・多種多様な仕事人の価値観に触れることができ、子どもたちには大変魅力的な講座である。あとは予算確保が課題である。 ・職業体験前に、これからの社会で必要なマナーの大切さを改めて知る機会ができて大変いい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生の話が聞けて、学びというのはいくつになっても大切だと分かった。 ・マナーは心の架け橋で、お辞儀の意味や正しいやり方もわかり、実感がわいた。 ・漠然としていた将来になりたい自分が明確になってきた気がする。

*他の分野でもたくさんの感想をいただきました。ありがとうございました。

☆後記☆

1年間「におねっと」を御活用していただきありがとうございました。新たな学年、新たなステージでも皆様の支援として、活用してまいりますようお願い申し上げます。

皆様にとって、今日も明日もいい日になりますように！！